

「第63回 全国里親大会石川大会」開催要綱（案）

1 大会テーマ

「いらっし・きまっし・楽しまっし！みんなで子育てALL JAPAN！」

2 開催趣旨

本大会は、子どもたちの健やかな成長のために日々奮闘している全国の里親と関係者が集い、お互いの思いを存分に話し合い、子どもの養育への熱意を高めるとともに、子どもの養育に関する課題や里親制度の現状等について研究・討議を行い、里親制度の一層の発展に資するものとする。

3 主催（予定）

厚生労働省、石川県、金沢市、石川県里親会、公益財団法人全国里親会、東海・北陸ブロック里親連絡協議会、社会福祉法人NHK厚生文化事業団、社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団

4 協賛（予定）

北陸コカ・コーラボトリング株式会社、株式会社 苗加不動産

5 後援（予定）

社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、一般社団法人日本ファミリーホーム協議会、全国児童家庭支援センター協議会、社会福祉法人石川県社会福祉協議会、社会福祉法人金沢市社会福祉協議会、石川県児童養護協議会、公益財団法人いしかわ結婚・子育て支援財団

6 開催期日

平成30年11月17日（土）～11月18日（日）

7 会場

石川県地場産業振興センター
〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目1番地

8 参加者

全国の里親・里子、児童養護施設・乳児院・児童自立支援施設・児童心理治療施設・児童家庭支援センター関係者、里親支援専門相談員、市町村・児童相談所等児童福祉行政・教育委員会関係者、民生委員児童委員、里親研究者、里親制度及び児童福祉に関心のある方、学生等

9 参加定員

500～600名程度

10 日程・内容

[第1日目] 平成30年11月17日（土）

12:00	13:00	14:00	15:00	15:10	17:10	17:30	18:30	20:30
受付	開会式 式典・顕彰	行政 説明	休憩		記念講演	全体 会	休憩 移動	懇親会

- 式典・顕彰 式典・全国里親会会長表彰
- 行政説明 厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課長 成松秀範(予定)
文部科学省高等教育局学生・留学生課長 (予定)
- 記念講演 講師 慎 泰俊 氏
認定非営利活動法人Living in Peace

「社会的養護の全体像といま私たちがすべきこと」
 社会的養護の全体像をデータその他情報をともに分かりやすくかつ包括的にお伝えします。その後、私自身の経験をもとに、社会的養護に関わる私たちがどのように社会と子どもに接するべきかについて考えるところをお話させていただければと思います。

[第2日目] 平成30年11月18日(日)

8:30	9:00		10:30	10:45	12:45	12:50		13:30	15:00
受付	分科会	移動 休憩	シンポジウム	移動	閉会式	オプション分科会 フリートーク			

○分科会

第1分科会	<p>テーマ：里親の未来像</p> <p>「途中から”親”になること」</p> <p>ある里子さんが行動の問題で受診された時、その里親さんの「『里親に育てられたから』と言われてたくない」という言葉を聞いた。里親さんや養親さんの中には、まるで白いキャンパスに絵を描いているようなイメージで、里子さんの養育を頑張ってしまう方と出会うことがある。「ちゃんとした子に育てなきゃ」「一人前にしなければ」という思いが強すぎることもある。たとえ新生児でも「白紙」ではない。10か月の人生を背負っている。何億年かの自分とは少し違う遺伝を背負っている。そんな色付きの子どもと別の色付きの自分との新しい出会い、そんな出会いを楽しめている里親さんや養親さんと会うと、その楽しさがこちらに伝わる。「途中から」育てることとはどんなことなのか、一緒に考えてみたいと思う。</p> <p>講師：奥山 真紀子 氏 (国立成育医療研究センター こころの診療部 統括部長)</p>
第2分科会	<p>テーマ：子どもの自立支援</p> <p>1. 「石川県の自立援助ホームと自立支援」</p> <p>2018年2月より、石川県では約20年ぶりに自立援助ホームがスタートしました。自立援助ホームは何らかの理由で家庭にいられなくなったり、児童養護施設などを退所して働かざるを得なくなった、原則、義務教育終了後から20歳までの利用者が対象です。利用者はホームで生活しながら社会に出ていくための準備をしています。昨今の法改正で22歳までのホーム利用も可能になっていますが、自立援助ホームは家庭で暮らすことのできない子どもたちの出口部分の一翼を担っているものの、既に入所時点で様々な困難を抱えている利用者も多く、自立支援といっても、そのニーズは多岐に渡っています。石川県では、弁護士を中心としたNPO法人が援助ホームを運営しており、問題解決に向けて弁護士も利用者の伴走者として関わりを続けています。支援に終わりはありませんが、石川のホームの取組をご紹介しますと共に、自立支援について考えてみたいと思います。</p> <p>講師：大谷 幸代 氏 (NPO法人 シェきらり 自立援助ホーム長)</p> <p>2. 「地域のこどもの居場所としての里親の役割～子どもの最善の利益を考える～」</p> <p>2017年夏、厚労省が設置した「新たな社会的養育の在り方に関する検討会」が、「新しい社会的養育ビジョン」を提出しました。これは「児童福祉法の理念を具体化する」ための工程を示すという位置づけだそうです。この「新ビジョン」で、「社会的養育」を次のように規定しています。「社会的養育の対象は全ての子どもであり、家庭で暮らす子どもから代替養育を受けている子ども、その胎児期から自立までが対象となる。そして、社会的養育は、子どもの権利、子どものニーズを優先に、家庭のニーズも考慮して行わなければならない。」つまりすべての子どもを対象とし、子どもの権利が守られる。その</p>

	<p>上で、社会的養護に関しては、代替養育措置に加え、在宅措置にも力点がおかれるのです。(杉山春『児童虐待から考える』より) このことを具体的に、こどもの里の在り方を紹介しながら、考えてみたいと思います。</p> <p>講師：庄保 共子 氏 (特定非営利活動法人こどもの里 理事長)</p>
第3分科会	<p>テーマ：虐待に関する諸問題</p> <p>「『こどものみかた』～背景への理解とケア～」</p> <p>様々な事情により、親との分離を余儀なくされた子どもの背景について考える分科会です。こどもの発達や虐待を受けたことによる影響とそのケアについて学び、支援に必要な基本的な対応・科学的知識について紹介します。今、暮らしを共にしているこどもの場面が、想起できる内容になります。</p> <p>講師：山口 修平 氏 (社会福祉法人 児童愛護会 一宮学園 副施設長)</p>
第4分科会	<p>テーマ：難しい子どもへの対応</p> <p>「思春期を迎えた難しい子どもへの対応」</p> <p>思春期を迎えると性徴が現れ、大人としての自己イメージの確立に悩み、誰でも心が動揺しやすくなります。代替養育を受けて育つ子ども達は特に強くこの揺れに襲われます。彼らの心理を理解するために、代替養育で育つ子どもの社会性の発達と家族イメージの変遷を紹介して、そこに愛着や発達の問題がどのように影響を与えるのか解説します。そして、難しい状況にある子どもと生活する際の基本方針や考え方を紹介しながら、厳しい時期をどのように乗り切っていくのか、ご参加の皆さんと考えてみたいと思います。</p> <p>講師：中垣 真通 氏 (子どもの虹情報研修センター 研修課長)</p>
第5分科会	<p>テーマ：新生児委託の取組みと未来像</p> <p>1. 「実親のサポートとベビー救済について」</p> <p>妊娠しているのは自分でもよく分かっている。でも病院に行くお金がない。頼れる人も相談出来る人もいない。仕事も辞めてしまった。一人で心細い。誰か助けて下さい・・・という SOS が後を絶ちません。妊娠した事情はまちまちですがもう後がない女性たちばかり。助けてくれるはずの病院も「うちでは無理」「未受診はお断り」などと冷たい対応で振り出しに戻る・・・出産までの残り少ない時間を安全で清潔な場所で食べて・眠れて・診察を受けて・・・やがて生まれるであろう命を大切にしたい・・・そういう現場の声をお届けしたいと思います。</p> <p>講師：岡田 卓子 氏 (特定非営利活動法人 NPO Baby ぼけっと 代表)</p> <p>2. 「すべての赤ちゃん、子どもたちにあたたかい家庭、家族を」</p> <p>児童福祉法改正に伴い、「新しい社会的養育ビジョン」が出され、里親、養子縁組など家庭養育が推進されることとなった。長年、里親、養親たちも多くの子どもを家庭に迎えたいと願ってきた。今こそ、里親、養親の出番と思われる。愛知県児童相談所の「赤ちゃん縁組、特別養子縁組」の取組みを紹介しつつ、「新しい家族」のあり方を一緒に考えたいです。</p> <p>講師：萬屋 育子 氏 (認定NPO法人CAPNA (子どもの虐待防止ネットワーク・あいち) 理事長)</p>
第6分科会	<p>テーマ：里親支援のあり方</p> <p>司会：法岡 敬人 氏 (あすなろ学園 里親支援専門相談員)</p> <p>1. 「石川県における里親支援の現状と課題」</p> <p>日本の社会的養護において、家庭養護を原則とする方針が示され、里親支援の必要性がますます高まっています。この分科会では、石川県における里親支援の現状と課題について発題させていただき、「社会的養護の必要な子どもたちの最善の利益」をベースに置いたより良い里親支援のあり方を皆さんと一緒に考えたいと思います。</p> <p>講師：坂本 直子 氏 児童養護施設 梅光児童園 里親支援専門相談員</p> <p>2. 「里親支援のあり方～新ビジョンを踏まえて」</p> <p>国、自治体による里親推進施策に絡んで、今後次のような支援策の強化、拡充が求められるので、必要の背景も含め具体的に提示したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里子成長のプロセス理解と研修・支援 ・不調ケース検証の仕組みと知見の共有

	<ul style="list-style-type: none"> ・相談・チームサポート・一時避難体制の拡充 ・広域調整と広域支援の仕組み ・民間との協働・役割分担 ・真実告知と実親探しの支援 ・フォスタリング機関と都道府県里親会・全国里親会の役割整理 ・20歳以降の支援メニューの拡充 ・家族再統合と家族改善への取り組み強化 講師：津崎 哲郎 氏（公益財団法人全国里親会副会長、児童虐待防止協会理事長）
オプション分科会	フリートーク テーマにこだわらず、話したいことをざっくばらんに語り合い、交流を深めませんか。まだまだ喋り足りないという皆さんは、こぞってご参加ください。

○公益財団法人全国里親会主催シンポジウム

“子どもの最善の利益を優先して考慮した養育とは！” その2 「多様なニーズのある子どもへの養育のあり方について」	
<p>被虐待経験や障害のある子どもなど複雑かつ多様なニーズのあるケースの委託が増えてきている。また、社会的養育ビジョンの実現に向けて、今後家庭養護は推進されることになり、さらにこうした子どもの委託が増えていくことになっていく。こうした現状を踏まえて、多様なニーズのある子どもの委託を受けた里親家庭においては、どのような点に配慮しながら養育をすれば良いのか。その際、関係機関からどのように支援を受けて養育すれば良いのかなどについて検討する。</p>	
シンポジスト	奥山真紀子 国立成育医療研究センター 部長 小林真理子 全国里親会理事、山梨英和大学副学長 眞保 和彦 全国里親会関東甲信越静ブロック長、静岡市里親会 会長 岩朝しのぶ 日本こども支援協会 代表理事
コーディネーター	相澤 仁 全国里親会理事、大分大学教授

1 1 子ども企画・託児

		子ども企画	託児
対象児童		原則 小学生以上	原則 就学前児童
定員		70名	30名
内容	11月17日(土) 13:00~17:30	「石川県立航空プラザで遊ぼう」 または 「プラネタリウムへ行こう」	石川県地場産業振興センター内での託児
	11月18日(日) 9:20~11:50	しんぶんしドームを作ろう！	

1 2 申込先

名鉄観光サービス株式会社金沢支店
 TEL 076-231-2126 FAX 076-223-1289

1 3 大会事務局

石川県里親会事務局
 〒920-8557 石川県金沢市本多町3丁目1番10号 石川県社会福祉会館内
 TEL 076-223-9553 FAX 076-223-9556